

青森県高体連
 夏季競技大会



【決勝・青森山田一八学野西】後半、相手陣内へ攻め込む青森山田のMF藤森颯太（左）＝青森山田高グラウンド

青森山田V 野西1点遠く

サッカー

（青森山田高）

▽3位決勝
 八学光星 5-2 三沢商
 ▽決勝
 青森山田 4-1-0-0 八学野西
 3-0

圧巻の零封勝利

○：青森山田は前半9分に先制し、後半にも攻撃の手を緩めず零封勝ち。昨年の全国高校選手権県予選決勝でPK戦に持ち込まれた相手を寄せ付けなかった。



藤原優大主将は「最近は何れも差の試合が続いていたので、差をつけて勝ちたかった」と、県内公式戦363連勝を誇る王者のプライドをにじませた。

圧巻だったのはシュートを一本も打たせなかった守備からの、素早い攻撃への切り替え。相手のロングボ

鉄壁の守り崩せず

○：「打倒青森山田」を掲げる八学野西だったが、

鉄壁の守りの前に、チャンスらしいチャンスをつくれないうまま敗れた。前線に相手守備陣と競り合った大川涼真は「ヘディングでこごとく競り負け、相手の守備陣を崩せなかった」と完敗を認めた。

現チームとしては、0-1で敗れた昨秋の新人戦県大会決勝に続く敗戦。GKの鈴木奏汰主将は「今は全ての面で相手が上だったが、シャープするタイミングやポジショニングをいから見直したい」と、今秋の再戦へ闘志を燃やしていた。

前半、八学野西は大川涼真（手前）がシュートを試みるものの阻まれる